

当社旧工場の施設撤去に伴う 土壌汚染調査結果と今後の対応について

2016年5月23日
東邦エンジニアリング株式会社

弊社の工場移転に伴い、旧工場敷地（大阪府泉大津市助松町 1-22-20）の土壌汚染調査を実施しました。詳細は添付資料に記載しましたとおり、敷地内の一部からふっ素が検出され、基準値を超過していることが判明し、泉大津市へ報告していましたが、土壌汚染により人の健康被害が生じるおそれのない形質変更時要届出区域に指定されたので、お知らせします。

弊社は1981年12月の創業以来、特に環境問題には留意して工場運営を行ってまいりましたが、今般このような調査結果が出たことを重く受け止め、土壌汚染部分の浄化工事を実施いたします。この工事につきましては泉大津市のご指導をいただきながら、万全の注意を払って実施する所存です。

地下水への影響については既に調査を実施しており、ふっ素濃度が基準値以下であることを確認しています。従いまして、現時点では地下水を通じて近隣の皆様にご迷惑をお掛けすることはないと考えています。今後の土壌浄化工事等で地下水が基準値を上回ることをのまないよう、細心の注意を払って工事を進めていく所存です。近隣の皆様にはご心配をお掛けすることになりますが、浄化工事が完了するまで今しばらくお待ちいただきたくよろしくお願い申し上げます。

なお、何らかの不測の事態が発生しましたら、速やかにご報告申し上げます。これまでの経緯等につきましては、添付資料に記載しています。

弊社（東邦エンジニアリング株式会社）の概要

- (1) 社長：板垣登
- (2) 本社：大阪府泉大津市河原町 7-5
- (3) 設立：1981年12月
- (4) 資本金：36百万円
- (5) 従業員数：約40名
- (6) 主な業務内容：原子燃料部品製造、精密機械加工

以上

本件に対する問い合わせ先

東邦エンジニアリング株式会社 総務部

電話：0725-22-3363

添付資料

土壤汚染調査結果

1. 土壤汚染調査について

弊社は、旧工場に設置されていた特定有害物質（ふっ酸）使用施設の撤去に際し、土壤汚染対策法に基づき、旧工場敷地の土壤調査を実施しました。

2. 土壤汚染調査結果について

土壤汚染調査の結果、複数地点で基準値を超えるふっ素が検出されました。濃度は最大で 3.8mg/L（基準値：0.8mg/L 以下、注1参照）でした。

また、基準値を超過した全ての地点において深度調査を実施しました結果、一部の地点で深さ最大 3.0m まで汚染していることを確認しました。（添付表1参照）

3. 地下水の調査分析結果について

土壤調査範囲の地下水について水質調査を実施しましたところ、ふっ素の濃度は基準（0.8mg/L 以下、注1参照）を下回っていました。（添付表2参照）

4. 土壤汚染の原因について

今回の土壤汚染調査の結果、廃液中和施設（使用後のふっ酸を中和無害化する施設）の近辺の濃度が最大となっていることから、ふっ酸廃液の中和処理作業の際に何らかの理由で漏洩し、土壤を汚染したものと考えられます。

（注1）基準値の設定根拠

70年間、1日2Lの地下水を飲用することを想定し、地下水の環境基準や水道水の水質基準と同様の考え方により設定された基準値。

表1. 汚染超過の概要

基準超過物質	基準超過濃度範囲	基準超過深度	基準値	基準超過数/調査数
ふっ素 （※土壤溶出量）	0.85mg/L ～3.8mg/L	地表面 ～3.0m	0.8mg/L	11/26

※土壤溶出量（mg/L）とは、検液1Lにつき溶出した対象物質の量（mg）を示します。

表2. 地下水測定結果

対象物質	分析値	基準値	調査数
ふっ素 （地下水質基準）	0.10mg/L ～0.37mg/L	0.8mg/L	3